

## 令和元年度第1回佐倉市入札監視委員会議事概要

日 時	令和元年7月24日(水) 午後1時30分～
場 所	佐倉市役所 議会棟第2委員会室
出席者	<委員> 湯川委員長、野村委員、金子委員 <事務局> 契約検査室 <担当課> 資産管理経営室・建設課・維持管理課・土木管理課・生涯スポーツ課 治水課・企画政策課

### 【議事概要】

#### 議題1 入札・契約の手続きの運用状況等について

平成30年10月から平成31年3月までに実施した一般競争入札・随意契約・低入札価格調査実施案件及び指名停止業者について、事務局から報告をしました。

#### [主な質疑]

(質問) 総括表に載っている平成30年度の随意契約件数や入札件数については他の年度と比べて何か特徴はありますか。

(回答) 目立った特徴はなく横ばいで前年並みです。

(質問) 大昌建設の指名停止についてですが指名停止を受けた大昌建設が請け負った工事は完成したのでしょうか。完成まですべて大昌建設がやったのでしょうか。

(回答) 完成まですべて大昌建設が行い、終了しています。

#### 議題2 制限付き一般競争入札参加資格の設定経緯等について

平成30年9月から平成31年3月までに実施した一般競争入札・随意契約の中から当番委員が抽出した10件の案件について、事業担当課職員による事業説明及び質疑応答を行いました。

#### [主な質疑内容]

##### 案件 武家屋敷敷地内多目的トイレ新築建築工事(一般競争入札)

(質問) 入札参加者が1者であり、落札率が高いのはなぜですか。

(回答) 自らの予定だけでなく電気設備や機械設備工事の受注者と協議をしながら進めなくてはならない現場となっていること、小規模な建物となっているが基礎、建て方、屋根、外壁、内装など多くの工種にわたる工事となっていること、武家屋敷の景観と合わせるために柱を露出させ、柱と柱の間に木板を組み合わせるといった外壁にしたことなど、技量が問われる工事になっています。手間と技量が問われるため、落札率が高く、積極的な入札参加が見込まれなかったと思われます。

(質問) いろいろな自治体で入札参加者が少なかったり入札が不調に終わっているとよく聞

きますが、これは日本全体に渡ってオリンピックの工事を実施していることが影響しているのでしょうか。

(回答) あくまでもテレビ等で行われていることですが、オリンピックなどのため建築工事の発注が多い時期でございました。そのため技術者の確保も難しく、働く人の労務単価も上がっていたため、落札率も上昇したと推測されます。また今回は建築一式工事ですが、東日本の地震の時は、土木工事が東北の方で多かったので、こちらの土木工事の不調が続いていました。そのような傾向があると思われま

(質問) 工事の完成はしていて、期待したような出来ばえでしたか。

(回答) はい。

(質問) 一般の市民の方々や観光客の方々も利用しているのですか。

(回答) はい。

#### 案件 R A C 0 0 8 鹿島川第2一号幹線整備工事(一般競争入札)

(質問) 落札率が高く、入札参加者は1者のみで競争原理が働いていないのではないのでしょうか。

(回答) 本工事は雨水排水を目的とするボックスカルバートというものを敷設するだけでなく舗装工、仮設工、付帯工などといった複合的な工事となっていること、また京成線に併設していること、夜間工事となっていること、そういった事情から多くの技量が必要だったためだと考えております。

(質問) 説明にあった工事期間が延長された理由はなんですか。

(回答) オリンピックが関連しておりまして、工事を実施するにあたって、仮設材がすべてオリンピック関連の方にもっていかれ、約3か月間は入ってこないという状況だったためです。

(質問) 業者としても最善を尽くしているにもかかわらず、どうにもならないため工事の遅れではなく延長ということになったのでしょうか。

(回答) はい。工事自体の内容については変更がなく、仮設材が入荷されないためということです。

#### 案件 平成30年度災害用マンホールトイレ資機材購入(一般競争入札)

(質問) 落札率が高く、入札参加者は1者のみで競争原理が働いていないのではないのでしょうか。

(回答) 資機材の需要が少なく受注生産品という特殊なものとなっていることから、メーカーとの取引実績がないと参加しにくい状況だったためだと思われま

(質問) 1者辞退となっていますが辞退された理由はなんですか。

(回答) 入札辞退届が出されておりますが、製品の一部が指定された納入期限に間に合わないという理由でした。加工する一部の部品だと思われま

たものと思われます。

(質問) マンホールトイレとは、どういうものですか。

(回答) 災害により使用する水が止まってしまった場合の一時的な仮設トイレのようなものです。

#### 案件 30 営浄 - 39 南部浄水場緊急遮断弁改修工事 (一般競争入札)

(質問) 落札率が高く、入札参加者は1者のみで競争原理が働いていないのではないのでしょうか。

(回答) 工事の施工には、高度な専門知識や技術だけでなく、事前に危険性や困難性への対応を十分とる必要があることに加えて、工期が約10か月となっていることから、長期間技術者を確保する必要があったためだと考えております。

(質問) 面倒な案件のため限られた業者しか、予定価格付近の金額で入札してこなかったという理解でよろしいでしょうか。

(回答) はい。

(質問) それならばもう少し設計金額などを高くして競争性を働かせ、安くするという発想はなかったのでしょうか。

(回答) 設計積算に関しましては必要な資機材、現場調査、物価本、千葉県や日本水道協会などが発行している積算基準など必要な書類の積み重ねに基づいて積算をしています。設計金額を上げれば、より競争が働くかと思われませんが、設計額としては適切に設定しています。

(質問) 緊急遮断弁の改修工事というものは、今まで経験や例はないのでしょうか。

(回答) 市内の浄水場のものを、順次取り換えています。

#### 案件 30 浄委 - 45 浄水場・中継ポンプ場等運転管理業務委託仕様書等作成支援業務委託

##### (随意契約)

(質問) 入札不適格性の具体的内容と契約相手方として選定した理由はなんのでしょうか。

(回答) 一般的な上水道とか下水道のシステムや浄水場にある電気設備、機械設備の保守点検業務といった機械設備に通じているだけではなく、現在運用している佐倉市の施設設備を十分熟知し、精通していることが求められます。また日々進化変化する技術革新に対して佐倉市の現有の施設がどのように対応できるのか、実際にどう適合するか可否の判断が求められます。このことから競争入札に適さないものと判断いたしました。契約相手方として選定した理由は、入札に適さない理由に加えて現在佐倉市が行っている運転管理の業務委託仕様書作成に携わったところを契約の相手方といたしました。

(質問) 契約した会社しか技術的な状況から入れなかったということによろしいですか。

(回答) はい。

案件 平成30年度佐倉市東部地区道路区域線図作成業務委託（一般競争入札）

（質問） 落札率が高いので入札の具体的経緯を説明してください。

（回答） 本業務は佐倉市の東部地区という広い範囲の中で、現場が散らばっていること、現場それぞれの測る距離がさほど長くないということから、ひとつひとつの現場において、手間がかかるものと思われます。このことから落札率が高くなったのではないかと考えております。

（質問） 手間のかかる業務の割りには、たくさんの業者が入札参加してきたことについて、どのように分析していますか。

（回答） 当該業務につきましては、今年度だけではなくて、過去から毎年行っている業務です。入札参加してきた市内業者も仕事の内容については理解している部分もあると思われれます。

（質問） 担当課としては、このぐらいの落札率になったことについて、どのように受け止めていますでしょうか。もっと下がると考えていたのか、もう少し高いこともありうると思っていたのでしょうか。

（回答） 積算するにあたって、県の積算基準を参考にしております。その中で積算基準、設計の内容や予定価格も公表されておりますので、落札率については、妥当ではないかと思えます。

（質問） 資格が市内に登録されている業者に限られていますが、ここにある12者の業者が市内にあり、測量に入札参加してくるのでしょうか。

（回答） はい。

（質問） 今回は、佐倉市の東部地区ということですが、位置はどのあたりなのでしょう。実施については毎年とか地域ごとに分けて実施するとかあるのでしょうか。

（回答） 場所は鹿島川の東側です。東部と西部に分けて毎年度実施しております。

（質問） 東部地区全体を実施しているのでしょうか。それとも東部地区のなかの限られた部分のみ実施しているのでしょうか。

（回答） 東部地区の北から南までで全体です。現場は、東部地区のある一部に全部かたまっているわけではなく東部地区の点々と散らばっている現場で作業をしてもらっています。

（質問） 図面がまだできていない地域を実施しているのでしょうか。

（回答） 境界の査定申請があがって、境界が決まったところを公共座標に置き換える仕事をしてもらっています。市が管理しようとしているところの図面がまだないのではなく、これから市が管理しようとしている図面に作り替えるという仕事を発注しています。もともと境界が決まって、図面はあるが、座標の種類が違うので、それを公共座標に置き換える仕事をしてもらっています。

案件 岩名プールコインロッカー購入（一般競争入札）

（質問） 落札率が高く、名簿登録者に比べて入札参加者が少ないので競争原理が機能していないのではないのでしょうか。

（回答） 2者から参考見積を徴取して精査した結果、高い精度の積算となり、落札率が高くなったと考えております。また、購入台数も8台ということで、比較的少なかったことから、スケールメリットがなく、1台当たりの単価が下がらなかったということも原因の一つと考えています。名簿登録者数に比べて参加者が少ない理由は、本事業は岩名運動公園のプールで使用しているコインロッカーの部分的な入れ替えであり、既存ロッカーと一体的に管理がしやすいように今回製品の指定をしたため購入品を取り扱う業者が絞られたことが主な原因だと分析しております。

案件 平成31年度高崎川右・左岸排水ポンプ場管理業務委託（一般競争入札）

（質問） 落札率が低く、入札参加者は2者のみで競争原理が働いていないのではないのでしょうか。

（回答） この業務は、雨水排水ポンプの管理という特殊性があり、実態としてそれを取り扱う業者としては限られてくることと、近年の傾向として、取り扱える業者でも技術者の確保が難しいということがございます。その結果名簿登録がされていたとしても参加しない傾向があると推測しています。競争原理の件につきましては、落札率が約39パーセントでございまして、必ずしも競争原理が働いていないという認識を担当課としてはもっておりません。

（質問） 参考までにお聞きするのですが1者が300万円の入札ですよね。もう1者との金額がかなり開いているのはどんな事情が考えられますか。それから辞退されている会社の辞退理由をお聞かせください。

（回答） 金額の開きですが、落札した業者については、ここ数年ポンプ施設の管理を請け負っている会社であり、業務の勝手を知っていて、人員の配置も済んでいることから、請け負うことができれば、引き続き同じ体制で業務を続けられるということが考えられます。辞退理由については、この業務を受注した場合に人員の確保が困難であると報告を受けています。

（質問） 辞退の理由から人員の確保が困難ということは、あらかじめ予想できることだと思いますが、あえて辞退することについて、隠れた意図は会社にはあるのでしょうか。

（回答） 他自治体の入札にも参加して、そちらの落札者となった場合に人員が足りなくなる恐れがあるということが考えられます。

（質問） これは平成31年度の管理業務を委託するということですが、毎年委託をしているのでしょうか。

（回答） 毎年です。

（質問） この39.1パーセントという落札率も十分低いのですが、この落札率でも十分な業務

を行っていただいているということによろしいでしょうか。

(回答) はい。

**案件 平成30年度太田調整池がま穂処理業務委託(随意契約)**

(質問) 随意契約8号該当となった具体的経緯及び契約相手方として選定した理由を教えてください。

(回答) 本業務は、水上に浮くフロート式の重機を使って水面を走り回り、がま穂を踏み潰して水中に押し込むという業務でございます。緑地管理道路清掃に登録されている市内業者ということで競争入札を実施したところ、最終的に入札参加者がいないということで8号随契に切り替えとなりました。契約相手方については、太田調整池に近接している同種の土木会社ということで、3者に見積依頼をいたしました。3者の中から最低価格を提示した会社を契約相手方といたしました。

(質問) 辞退の届出があったということですが、これは業務内容が特殊な内容なのでしょうか。

(回答) 本業務の内容は、がま穂を重機で踏み潰す内容でしたが、入札参加しようとしてきた業者は、草刈り機で刈り倒すつもりで参加をしたようです。結果内容が違ったということで辞退したと聞いています。

**案件 (仮称)佐倉市職住近接イノベーション型テレワーク・シェアオフィスプレイス施設整備B工事(随意契約)**

(質問) 入札不適格性の具体的内容と契約相手方として選定した理由はなんのでしょうか。

(回答) 入札に適しない理由としては、既設の設備と密接不可分な関係にあり、同一施工者以外の者に施工させた場合に、既存の設備に著しい支障が生じる恐れがある設備等の工事に該当するためです。契約相手方として選定した理由は、当工事は、建物の既存の躯体に穴を空ける必要があり、ビル全体の安全や構造に影響を与える工事となることから、建物の所有者又は所有者が指定する事業者が施工する必要があるためです。なお、この施設はコラボ佐倉という愛称で呼んでいます。

(質問) そもそもコラボ佐倉では何ができるのですか。

(回答) テレワークなどの多様な働き方が自由に好きな時にコワーキングスペースで仕事をすることがメインとなります。そしてシェアオフィスの方では会社や起業創業を目指す方に入ってもらって、そこで仕事をしてもらい、やがては佐倉市で起業創業してもらうための施設としてオープンいたしました。

(質問) 市が管理して運営していくのでしょうか。

(回答) 今年は市が直接管理して運営を委託しています。来年度から指定管理者を募集して指定管理による運営を行う予定です。指定管理で運営すれば、独自のいろいろな事業が可能となりますので、より起業創業のための有効な施設になってもらえるものと期

待しています。

(質問) 場所はユーカリが丘の駅の近くなのですか。

(回答) はい。スカイプラザというユーカリが丘駅からペDESTリアンデッキを渡ってそのまま行ける商業ビルの中の3階にあります。